

第9回 祈りと出会い—福島と滋賀の作家交流—展とコンサート

とき 2022年 9月9日(金)～9月13日(火) AM9:00～PM5:00 入場無料

ところ 銘醸館 TEL.0244-26-8040 福島市南相馬市原町区本町2丁目52番地

福島の皆様その後お元気ですか。コロナ感染症の為に2年お休みし3年振りに福島展をさせて頂こうと思っています。しかし7月に入りコロナがまた拡大してきて危ぶまれている状況ですが、やらせて頂きたいということで準備を進めます。あの震災と原発事故からもう11年ですね。未知なる形が見えない不気味な恐怖にまた数々の風評被害にも耐えてよく頑張ってくれましたね。私達のささやかな少しでも励ましになればと願って展覧会を企画させて頂き、3年目の頃よりありがたいことに何か手伝いたい、地元の皆様で実行委員会を作って頂きました。とても感激でした。そして8回目を終えたあたりでコロナでお休みとなりました。私達も実行委員会の皆様も民宿の奥さんも、高齢になりともかくも10年間は続けさせて頂きたいとの思いでここまで来ました。しかしやっぱり体力の衰えや体調を崩したりしています。そこでもし、今回開催できれば誠に残念ですが今回をもって最終会とさせて頂きたく思います。またコロナで今年出来なければ来年もう一年待ちたく思います。今回展覧会に初出品の方もおられますので楽しみにして下さい。9月11日コンサートは心を込めた温かいものに皆様と盛り上げたく思います。鎮魂の灯りは一層心を込めて皆様と一緒に灯したく思います。又、今回初参加の天津で生まれた民画「天津絵」を佐藤実昌さんが色紙等にパフォーマンスで描かれます。鈴木は例年の万葉風似顔絵を今年も描かせて頂きます。どうぞ天津絵の方も御希望の方はお越し下さい。お元気な皆様久しぶりにお会いできますこと楽しみにしています。そしてすすめのコゼットも元気にしているようです。電話で時々鳴き声を聞かせてくれます。再開をととても楽しみにしています。



大亀清壽
(彫刻)



大槻明生
(写真)



山岡由佳
「窓際の静物」



富澤利男
(陶芸)



鈴木晴嵐
「UMI・NI・INORU」



鈴木靖将
「つらつら椿」



福角窓月
「古代文字 虎」



佐藤実真
(天津絵)



楠見眞佐子
(戸塚刺繍)

9月11日(日)

鎮魂の灯り 1300本点灯 13:00より 点灯準備
14:00より 点灯

銘醸館駐車場にて(小雨決行)多くの皆様で点灯したく思います。御参加お待ちしております。

コンサート 16:00～18:00



菅野 啓明 (笛)
菅野 幾代 (箏)

生まれも育ちも南相馬。地元産品みたいな二人です。今回は笛の友人との共演が実現しました。震災から11年、沢山の方からいただいた応援への感謝を込めて演奏します。



横山 政美 (ソプラノ)

滋賀県立石山高校音楽科を経て武蔵野音楽大学声楽科卒業。日本歌曲、和楽器との共演で活躍。東京室内歌劇場、他会員



井出 聖子 (笛) 〈友情出演〉

さいたま市在住 歌人
笛の季刊誌「笛竹」を33年にわたり編集発行。
笛にまつわる著書多数、CDに「パルミラ幻想」



藤崎 啓之 (バリトン)

日本大学理工学部数学学科卒業。第十一回新・波の会日本歌曲コンクール第二位(共演者と出逢う)二期会会員



中山 登志子 (フルート)

滋賀県立石山高校音楽科を経て相愛大学音楽学部器楽科フルート専攻卒業。フルートオーケストラ湖笛の会代表 日本フルート協会代議員



加藤 由美子 (作曲・ピアノ)

東京藝術大学音楽部作曲科卒業。元、NHKテレビ・ラジオ体操ピアニスト。相模原市民文化財団理事。日本作曲科協議会会員。



岸本 佳美 (ピアノ)

滋賀県立石山高校音楽科を経て大阪音楽大学短期大学部ピアノ専攻卒業。栗東カレンジュラ・第九合唱団等のピアニスト



金輪 容子 (アナウンス・語り)

FMふくやまパーソナリティ
朗読の会「三人姉妹」代表、
備後文化を繋ぐ会 副会長

主催 / 祈りと出会い展実行委員会

後援 / 南相馬市、南相馬市教育委員会、滋賀県

お問い合わせは 祈りと出会い展事務局 岩本照雄 南相馬市原町区桜井町1-31-1 TEL0244-23-5665